

株式会社トランザクション

2010年9月2日

市場	JASDAQ	業績(百万円)	2008/8	2009/8	2010/5(3Q)
上場承認日	2010/9/2	売上高	6,927	7,068	5,841
上場予定日	2010/10/12	営業利益	214	252	441
主幹事証券	野村証券	経常利益	231	23	410
監査法人	有限責任あずさ監査法人	当期利益	78	67	246
URL	http://www.transaction.co.jp/	総資産	3,705	3,528	3,287
証券コード	7818	純資産	949	1,074	1,312

● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は2009/8期)

- ・同社は、「雑貨にファッションのトレンドを取り入れる」というコンセプトのもと、一般雑貨製品・エコ雑貨製品・ヘルスケア雑貨製品の企画・デザイン・製造・販売を行っている。グループは、純粋持株会社である同社と子会社(全て100%)より構成されており、市場への機動的な対応のためにファブレス形態をとり、経営資源を製品開発に集中させている。子会社は、(株)トランス(オーダーメイド製品製造)、(株)トレードワークス(見込生産製品製造)、(株)クラフトワーク(印刷・化工・物流)、(株)T3デザイン(製品開発)、Trade works asis(中国圏ビジネス)の5社であり、それぞれに別の役割を持たせている。
- ・製品は、①一般雑貨(売上43億:構成比61.2%)、②エコ雑貨(24億:34.3%)、③ヘルスケア雑貨(2億:3.5%)に大別できる。②は再生素材(再生ペット繊維、廃棄木材、再生樹脂、再生紙など)を用いた雑貨等であり、③はマスク・除菌シート・冷却シートなどである。②、③に当てはまらない製品を①としている。製品のターゲット層は特に明記されていないため、世代を問わず使用できるデザインを目指しているものと推察される。
- ・①は全体の構成比率は高いものの前年同期比91.2%と伸び悩んでおり、2010/5(3Q)も単純計算で前年比約80%と減少傾向にある。一方で、③は2009/8期より取扱を開始し、現状の売上金額は少ないものの、2010/5(3Q)の売上は12億(構成比21.3%)と大きく成長しており、③の今後の成長余力が業績に大きく影響するものと想定される。ただし、2010/8期の数値には新型インフルエンザの流行による需要増加の影響も含まれているので、自然体でどの程度の成長力を持っているかは現状では不明。
- ・販路別の売上では、エンドユーザー向け(売上36億:構成比51.5%)、卸業者向け(33億:47.5%)に大別できるが、両者の取引高はほぼ拮抗している。なお、エンドユーザー向けはオーダーメイドの受注生産品がメイン、卸業者向けは見込生産品の販売がメインとなっており、最終的にコンビニやドラッグストアなどに卸されている。

● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は2009/8期)

- ・総資産は35億円。主な内訳は、現預金4億円、売上債権12億円、在庫7億円。ファブレス形態を取っているため、同業メーカーと比較して、有形固定資産が非常に少ない(0.9億円)のが特徴であろう。そのほか、預け金2.9億円がデリバティブ取引の担保として差し入れられている。また、今回調達する資金で社内基幹システム(2億円)を新設する予定であり、将来的にはこれが資産に計上される見込。
- ・負債は24億円であり、主に仕入債務5億円、有利子負債12億円、デリバティブ債務2億円など。デリバティブ債務は海外仕入のリスクヘッジ目的でデリバティブ取引を行っているものである。損益への影響は後述する。
- ・売上高は70億円、粗利は25億円であるが、粗利率はほぼ毎年35~36%で推移しているようである。特徴的なのは営業外費用で、為替差損0.5億円、デリバティブ評価損1.7億円が計上されており、営業利益(2.5億円)をほぼ相殺してしまっている。海外取引が多いためのデリバティブ取引であろうが、為替レートが大きく変動した場合、経常ベースでの利益が大きく変動する可能性があるため留意が必要。なお、対象を米ドルとした通貨オプションを締結しており2011/5まで当該契約が残る。そのほか、直前期である2009/8期に、過年度超過勤務手当0.1億円が特損計上されている。
- ・CFでは、営業CFが4億のマイナスで、2年連続マイナスとなっている。業容拡大による営業債権・在庫の増加による影響が大きいと考えられるが、法人税等を当期利益以上に支払っている点も大きく影響しているようである。なお、2010/5(3Q)では4億円のプラスとなっている。

● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・役員構成は、取締役5名、監査役4名。同社社長は、国内子会社4社の会長も兼任しているが、子会社社長はトレードワークスの社長が同社取締役となっているのみで、他の子会社の社長は同社取締役には就任していない。
- ・株主構成は、公募増資前段階でオーナー一族が議決権の95.3%、持株会が3.1%、残りが他の役員であり、ほとんどオーナー一族で占められている。また、IPO後でも一族で73.8%と高い比率で保有する見込み。SOは幅広く付与されており、役員約300名に対して行われている。
- ・資本政策としては、2009年に持株会や役員向けに第三者割当増資を一度行ったのみであり、資金需要は特に無かったようである。持株会・役員持株はこの時点で発生したものがほとんどであるため、元々は実質オーナーの100%保有会社であったことが伺える。なお、株式分割を頻繁に行っており、2009年の増資前に10分割、増資後に100分割、2010年に2分割をしており、結果として当初株式は2,000倍になっている計算である。

© (株)アカウンティング・アシスト(無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Iの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実認識等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。